

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年3月13日～2017年3月19日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年3月22日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「議会選挙」に対する各国反応

・3月12日に行なわれた「アブハジア共和国議会選挙」について、13日、アゼルバイジャン外務省およびエストニア外務省が「選挙」を認めないとの声明を発表。14日にはNATO、ポーランド外務省およびリトアニア外務省、16日には在ジョージア米国大使館、17日にはカナダ外務省が同様の声明を発表。

▼フルチャでの射殺事件の犯人に対するインターポールの国際手配(17日)

・ジョージア政府の要請を受け、インターポールは、2016年5月にフルチャで起きた住民の射殺事件の犯人である「アブハジア共和国国境警備隊員」を国際手配した。

【南オセチア】

▼「南オセチア共和国軍」の一部の部隊の露軍への統合に関する「合意」(14日)

・プーチン露大統領は「南オセチア共和国軍」の一部の部隊のロシア軍への統合に関する露政府の提案を承認し、南オセチア側と合意に署名するよう露国防相に指示した。
・ティビロフ「南オセチア共和国大統領」は、「南オセチア共和国軍」の一部が南オセチア内の露軍第4基地の部隊に編入される。何人の兵士が露軍部隊に移るかはまだ決定していない」と述べた。
・ジャネリゼ外相は「合意」を批判。

2. 外 政

▼NATOの報告書(14日)

・ストルテンベルグ NATO 事務総長が2016年の活動に関する報告書を発表。ジョージアが Resolute Support ミッションに重要な貢献を果たしている NATO の最も重要なパートナーの一つと評価されているほか、NATO・ジョージア実質的パッケージの実施についても詳しく述べられている。

▼トルコ首相のバトゥミへの立ち寄り(15日)

・エルドゥラム・トルコ首相が数時間立ち寄ったバトゥミにてクヴィリカシヴィリ首相と会談。両国間の戦略的パートナー関係における肯定的な動きが強調された。

▼大統領のバクー訪問(16日-17日)

・第5回バクー・グローバル・フォーラムに出席するためマルグヴェラシヴィリ大統領がアゼルバイジャンを訪問。アリエフ・アゼルバイジャン大統領、ヴァノビッチ・

モンテネグロ大統領およびニシヤニ・アルバニア大統領と会談。

・フォーラムでの演説で「マ」大統領はジョージアの被占領地域の問題に焦点を当て、被占領地域との協力によってロシアは国際関係を愚弄していると述べた。

・「ア」アゼルバイジャン大統領との会談では両国の長期的な協力の強化の見通し、エネルギー安全保障に関する共同プロジェクトなどについて議論。

▼ハンガリー外務貿易相の訪問(17日)

・シーヤールト・ハンガリー外務貿易相がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、コバヒゼ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談。

・「ク」首相との会談では、二国間関係、協力の発展の見通し、貿易・経済関係の強化の必要性、ジョージアの EU・NATO 加盟、ジョージアの被占領地域の状況などについて議論。4月に予定されているオルバーン・ハンガリー首相のジョージアへの公式訪問および同時に開催される二国間のビジネス・フォーラムの計画を検討。

▼露によるクリミア「併合」に関する外務省声明(19日)

・ロシアによるウクライナのクリミアおよびセバストポリ市の「併合」から3年が経過したことに因み、外務省が声明を発表。声明は、ウクライナの主権・領土一体性に対する支持を確認しつつ、「ウクライナに対する侵略および力による国境の変更の企てを今一度非難する。これはジョージアも身を以て経験しており、度重なる占領・併合は国際的な秩序を傷つけ、国際的な安全保障・安定を深刻に脅かしている」と述べている。

3. 内 政

▼大統領による改憲のキャンペーン(13日)

・13日、マルグヴェラシヴィリ大統領が「憲法はみんなのもの」と題したキャンペーンを開始。「マ」大統領は、憲法はこれまで何度も修正されたが、「特定の政党の利益のために」秘密裏に行なわれてきたとして、NGOや専門家、様々な政党の関係者らに議論を呼びかけた。また、キャンペーンは国家憲法委員会とは別のプロセスではなく、「(国家憲法委員会によって)進められている手続きを民主的な手段で支援する」ものであると強調。

・コバヒゼ国会議長は、改憲の方法は既に法律で定められているとして、大統領によるキャンペーンは「不必要」とコメント。

▼農業・地方開発問題担当首相補佐官の任命(15日)

・クヴィリカシヴィリ首相はキルヴァリゼ元農業大臣・元国会農業委員会委員長を農業・地方開発問題担当首相補佐官に任命。

▼地方発展国家戦略2017-2020(16日)

・政府がEU, UNDP, FAO の支援を受けまとめられた地方発展国家戦略 2017~2020 および 2017 年の行動計画を発表。クヴィリカシヴィリ首相は地方のインターネットなどのインフラの整備を通じた地方のビジネスの発展の促進に対する期待を述べた。

4. 経 済

▼2017年2月の国際送金(15日)

・国立銀行の資料によれば、2017年2月の外国からジョージアへの送金額は94.1百万ドル(248.7百万ラリ)。前

年同月比 17.9%増。送金元の国別では、金額の大きい順に、ロシア 32.2%、米国 10.8%、ギリシャ 10.7%、イタリア 10.5%、トルコ 8.1%、イスラエル 8.0%。EU 諸国からの送金が 31.1%を占める。

・2017年2月のジョージアから外国への送金額は14.6百万ドル(38.5百万ラリ)。前年同月比7%減。

▼経済・持続的発展相のラトビア訪問(17日)

・ガハリア経済・持続的発展相がラトビアを訪問。リガで開催されたジョージア・ラトビア政府間委員会会合に出席。アシェラディニ・ラトビア副首相兼経済相と会談。会談後、「ガ」経済・持続的発展相は、既に密接な両国の政治的関係に加え、経済協力を活発化させるとして、貿易、直接投資、観光の分野における両国間の協力は今後大きく発展するだろうと述べた。